

ワクワクするようない
将来への機会を拓げる一歩を



SAP ジャパン株式会社
SAP ジャパンは、企業向けソフトウェアにおけるグローバルのマーケットリーダーとしてあらゆる業種と規模の企業を支援しているSAP SEの日本法人として、1992年に設立。デザインシンキングなどの手法やSAPのテクノロジーを活用して、お客様のイノベーション達成を支援することを目指しています。

左：笹本 力(ささもと ちから)さん(社長室・CSRリーダー)
右：熊手 葉子(くまで ようこ)さん(社長室・CSR)

SAP ジャパンでは、社員がボランティアとして参加するCSR活動を展開しています。ブリッジフォースマイルとの協業は施設の高校生向け模擬面接プログラムを2012年に実施以来、今年10年目を迎えました。
現在では「ジョブプラクティス」の一環でSAPが開発に携わったビジュアルプログラミングツール「Snap」(スナップノ)を用いたプログラミング体験と、弊社社員とのキャリアトークセッションを定期的に行っています。社員のキャリア経験を聞くことで子どもたちに学んでいただくだけでなく、ボランティアとして参加する社員も子どもたちと接することで、自らの仕事の本来の目的を考える機会になり、非常に貴重な体験となっています。
さまざまな事情により施設で暮らす子どもたちは、最初は緊張していてもゆっくり時間をかけて話をしていくうちに打ち解け、最後は明るい笑顔を見せてくれるようになります。施設で暮らしている一人の子どもであることには変わりはありません。子どもたちが一歩を踏み出し、それぞれのワクワクする将来への機会を広げる支援ができるよう目指します。

未来へ向かう意欲をサポート

親を頼れない子どもたちの「巣立ち支援」

【巣立ち後の生活を支援】

- 巣立ちプロジェクト** 高校3年生向け一人暮らし準備セミナー
- トドクン** ポイントをためて生活必需品をそろえる
- 居場所事業** 身近な理解者と繋がり、いつでも立ち寄れる
- アトモプロジェクト** 同じ境遇の仲間と集うイベント
- 自立ナビケーション** ナナメの関係で気軽に話せる個別サポート
- 奨学金支援プログラム** 定期的な面談を行う給付型奨学金
- ライテミル** 複数の就労体験を通じた就活サポート
- スマイリングプロジェクト** 社会人と一緒に住むシェアハウス事業

【巣立ち前の準備を支援】

- 自立支援セミナー** 社会人から楽しく学び巣立ちの不安を解消する
- ジョブプラクティス** 働くイメージを描く1日職業体験
- インターン** 数日間の就労体験で自分の興味や得意を知る

子どもを支える社会をつくる「広報・啓発活動」

- コエール** 親を頼れない経験を当事者が語るスピーチイベント

B4S 事務局だより



織田 潤一(おだ じゅんいち)

入社して6年目になります。現在は、施設に対してプログラムの案内を行い、子どもの情報共有、相談を担う部署で仕事をしています。異業種から転職した私には、ブリッジフォースマイルで見聞かす子どもを取り巻く現状は驚きの連続でした。子どもたちが抱える課題や状況の複雑さに直面するたびに、無力さを感じて壁にぶつかってきました。しかし、子どもたちの持つ個性的な魅力、多様性、現状を突破していく可能性に触れるたびに、私自身も成長することができました。子どもたちの生きる力を信じて、一人一人が主体的に人生の選択をしていく応援ができればと考えています。



スマイル
Smile!
2023

社会に巣立つ
子どもたちを応援します



親を頼れないすべての子どもが笑顔で暮らせる社会へ

支援される側から、支援する側へ。

失敗したって、大丈夫

と伝えたい

Interview

児童養護施設を退所後、2年の企業勤務を経て、ワーキングホリデーでバンクーバーへ。いまは北海道でデザインの仕事をしている三浦青空さん。2022年に立ち上がったブリッジフォースマイル(B4S)の北海道ランチには支援する側として関わっています。



「自立ナビ」で出会い、 いまでも続く関係性

B4Sとはじめて関わったのは、高3のとき。「巣立ちプロジェクト」に参加しました。施設を退所後は、毎月会って食事をする「自立ナビ」もやっていました。自立ナビの担当だった社会人ボランティアの「みれい」とは、いまでも連絡を取りあっています。

高卒で施設を退所し、製本会社に勤めました。残業が多く、寮ではかなり独特なルールがあり、とても厳しくて…。いま振り返るに、みれいに「仕事がつらい」とか、「これが大

北海道ランチで、支援者となって

帰国後すぐに北海道にきました。東京以外に住みたいと思い、探していたら、2000円で北海道に行ける航空券を見つけて飛びつきました。2年ほど登別や洞爺湖などのリゾートでバイトをしていました。いまは札幌に住んでいます。最初はコールセンターで働き、その後手に職をつけるためにデザインの専門学校に通い、いまはフリーランスのWebデザイナー、グラフィックデザイナーです。まだ一年目で、収入が安定していないので、コールセンターでのバイトも続けながら

一人ひとりにあわせた支援ができる人になりたい

B4Sのような団体があることによつて、いきなり「自立しなさい」と言われて戸惑う子どもが少なくなるのであれば、素晴らしいと思っています。私にとっては、みれいとの関わりが印象に残っているので、もう少し慣れてきたら、みれいみたいに一人ひとりにあわせたサポートができるようになりたいと思っています。

以前の私は、失敗するのが怖くて、何でも完璧にがんばろうとしていましたが、いまの私は、失敗することと学び、成長できることを知っています。だから、これから社会に巣立つ子どもたちには、「失敗しても大丈夫だよ」と伝えたいです。恐れることなく、どんどん失敗して、成長につなげてほしいと思っています。

三浦青空(みうら あおぞら)さん

ニックネーム：青空(そら)
2012年児童養護施設退所
職業：Webデザイナー、グラフィックデザイナー
趣味：カメラ
夢中になっていること：仕事
Webサイト：<https://www.parraplu.com/>
「笑顔のもとは？」という質問に、「気分があがるので、いつもできるだけ笑顔でいるようにしています。でも、本当に落ち込んでるときは、無理にあげることはあえてしません。しんどくなるだけだから」と、素敵な笑顔で答えてくれました。

児童養護施設職員の仕事から

傷つきが大きい子どもたち。日々成長する姿がやりがい

道心園東ホームは茨城県土浦市にある児童養護施設です。敷地内には道心園西ホーム、子ども家庭支援センター「どうしん」が併設されています。以前は大会制でしたが、より家庭的な支援のために6年前に小舎制へ建て替えを行いました。道心園東ホームに入職して15年目になります。入職当初は男子寮に配属され、5年後女子寮へ。ファミリーソーシャルワーカーなどの専門職を経て、現在はホーム主

任を任されています。

児童養護施設職員を目指したきっかけは、学生時代に一時保護所で管理宿直のアルバイトをしたことでした。出勤するたびに入れ替わる子どもたちを見て、「この子どもたちをもっと支援していきたい」という思いで児童養護の世界へ飛び込みました。実際に子どもたちと関わる中で、思った以上に傷つきは大きく、対応に苦慮することもありますが、日々成長する姿にやりがいを感



石塚 邦義(いしづか くによし)さん
道心園東ホーム/職業：児童養護施設職員/趣味：旅行、アウトドア/笑顔のもと：家族との時間、子どもの成長

じています。

ブリッジフォースマイルとの関わりは、中高生対象の出張セミナーが始まりました。セミナーは子ども目線でとてもわかりやすかったことを覚えています。今は自立を控えた子どもたちの支援に対する相談をしています。自己表現が苦手な子どもたちに対して、その背景を理解しようとしてくれる姿が印象的です。今後子どもたちの成長を共に支えていけたらと思います。

社会人ボランティアとして関わる私から

コミュニケーションに正解はない。時には反省することもある。

アルバイトで時間の余裕ができたこと、子どもに関係する悲しいニュースに触れたことがきっかけとなり、「私にも何か出来ることないかな」と探していてブリッジフォースマイル(B4S)に巡り合いました。2019年にボランティア登録をして、この4年間で「巣立ちセミナー」や広報・啓発活動の「一環」として開催されている「コール」に参加しています。B4Sの活動ははじめて会う方

(高校生、当事者の若者、ボランティアなど)とコミュニケーションを取りながら進めていくものが多いのですが、人と話したり、話を聞いたりするのが好きなので毎回新たな発見がありとても楽しいです。特に巣立ちプロジェクトで会う高校生は特技や好きなことを詳しく話してくれるのでいつも聞き入っています。

ただ、時には「このタイミングで、こんな言い方しなければ



清瀬世(せいはいはるよ)さん
ニックネーム：まーこむ/職業：化学系メーカー勤務/趣味：パン作り/笑顔のもと：長時間睡眠・スイーツ・おしゃべり

良かった。と反省することもあります。コミュニケーションに100%の正解はないので、他のボランティアメンバーやB4Sスタッフのみなさんと相談しながらより良い関係性を築くスキルを磨いていきたいです。まだまだではあります。来年は「自立ナビ」にもチャレンジしてみようと思っています。

です。